



2024年度 神鋼商事株式会社SDGs年間報告

SDGs委員会 林 弘樹

目次

- **SDGs活動の目的**
- **2024年度 活動報告**
各SDGs項目について
- **2025年度 取組項目**
- **SDGs委員会 所感**

SDGs活動の目的

当社の事業の発展と、ES（従業員満足度）向上を目的として、今年度もSDGs委員会を中心に活動を行いました。

2024年、当社は従業員の健康を大切にする取り組みが評価され、健康経営優良法人の認定を受けました。この認定は、働きやすい職場環境を作り、社員一人ひとりが健康で安心して働ける会社づくりを目指す当社の姿勢を示すものです。

パートナー企業と協力体制を構築し、地域や若い世代に対して神鋼商事株式会社のSDGsの取り組みを広く伝えたいと考えています。

当社の事業の発展

ES（従業員満足度）向上

社会課題の解決に貢献

パートナー企業との協力体制の構築

地域や若い世代に対する啓蒙

2024年度 SDGs委員会 活動報告

神鋼商事が取り組むSDGs

- ・目標3 すべての人に健康と福祉を
- ・目標7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
- ・目標8 働きがいも経済成長も
- ・目標11 住み続けられるまちづくりを
- ・目標12 つくる責任 つかう責任
- ・目標13 気候変動に具体的な対策を
- ・目標14 海の豊かさを守ろう
- ・目標17 パートナースhipで目標を達成しよう

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





目標3 すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

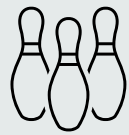
神鋼商事SDGs

質の高い健康診断を必ず年1回以上実施し、随時インフルエンザ予防接種を提供できる体制を整えることを目標とする

取組内容

取組項目	取組内容	目標	成果
従業員全員の健康診断の実施	従業員の健康をサポート	受診率100%	受診率100% 対象者に対する再検査の推進
運動イベントの実施	従業員の運動機会の増進	参加率50%	参加率70%達成 +ご家族の参加
従業員の怪我予防	毎日朝礼でストレッチ体操	参加率100%	達成
ペットボトルキャップの寄付を通じたワクチンの提供	公社) 平塚法人会に寄付	8kg	10kg達成

第2回ボウリング大会風景



2024年度も前年に引き続き、健康増進イベントとしてボウリング大会を開催いたしました。

今回は従業員だけでなく、お子さまを含めた多くのご家族の方にもご参加いただきました！運動を楽しみながら、皆さんの笑顔や声援が溢れ、とても温かい時間を共有することができました。



パパと
いっしょに
はじめての
ボウリング！



ペットボトルキャップの寄付

当社は2024年度も、公益社団法人平塚法人会を通じ NPO法人Reライフスタイルにペットボトルキャップを寄付致しました。

分別の際に廃棄されてしまうことが多いペットボトルキャップも、正しく分別し、協力団体に提出することで、世界の子供たちにワクチンとして届けることができます。



今年も感謝状を
いただきました

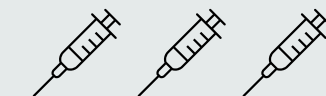


公社) 平塚法人会の
HPより引用



ペットボトルキャップが
ワクチンになる仕組み

協力会社がリサイクル資源として販売し、その売上利益がJCV（世界の子供たちにワクチンを日本委員会）とユニセフを通じ世界の子供たちへのワクチンや医療器具や輸送費に充てられています。

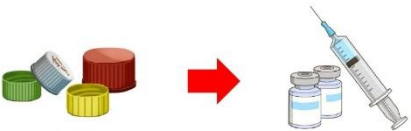


ペットボトル
キャップ10kgは
6～8人分の
ワクチンに
なります




公益社団法人平塚法人会
ペットボトルキャップ回収プロジェクト！！

ペットボトルキャップを集めて、
世界の子供たちにワクチンを届けよう！


約500個 → 1人分

提供先 NPO法人Reライフスタイル
<http://www.re-lifestyle.com/index.htm>

世界では1日に約4000人の子供が命を落として、約3人に1人が「ワクチンがあると予防できる死」だと言われています。
ペットボトルキャップは、回収業者によってリサイクル資源として売られ、売利益がJCV(世界の子供たちにワクチンを日本委員会)への寄付となり、UNICEFと連携して世界の子供たちへのワクチンや医療器具や輸送費に充てられています。
ただ捨てていただけのペットボトルキャップが約500個で1人分のワクチンとなり、世界の子供たちの命を救うことにつながります！！

是非、平塚法人会へお持ちください！



公益社団法人平塚法人会

住所 〒254-0807 平塚市代官町11-38
TEL 0463-21-2891 FAX 0463-24-0785
メール office@hiratuka-hojinkai.or.jp





目標7 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに

手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する

神鋼商事SDGs

我が国に於ける、2050年カーボンニュートラルに関する日本鉄鋼業の基本方針にある、スクラップ利用拡大に伴い、鉄スクラップを安定仕入れ、これを適正加工し需要家へ供給することでCO2排出削減を促進し、クリーンな地球環境を目指す。

取組内容

取組項目	取組内容	目標	成果
金属の安定仕入れ 需要家への供給	営業活動の実施	年間目標値	90%
入荷数量の増加	新規のお客様からの 入荷数量増加	年間目標値	102%達成
コンプライアンス強化	ダストの適正処理について 勉強会の実施	実施	達成



目標 8 働きがいも経済成長も

すべての人々のための包括的かつ持続可能な経済成長、
雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしいごと）を推進する

神鋼商事SDGs

働きやすい職場環境づくりのため、ビジョン実現型人事評価制度（Grab Sustainable Happiness Project）を通じ、社員にやりがいや明確な目標を提供し、公平な評価をもって生活安定への指針を示し、長く安心して働ける職場環境を確立する。
また社会から必要とされる鉄リサイクル企業であり続けるため、新しい技術・機械・設備の導入により生産性の向上を図り、経済成長を促進させる。

取組内容

取組項目	取組内容	目標	成果
ビジョン実現型人事評価制度の運用、実施	公平な人事評価を通じた働きやすい職場環境の提供	半期ごとの適正評価	達成
健康経営優良法人2025（中小企業部門）取得	別紙参照	取得	達成
生産性の向上にむけたヤード内の整理	動線に沿った置き場の整理	年に3回実施	達成

健康経営優良法人2025（中小企業部門）を取得いたしました

当社は、従業員の健康を大切にし、働きやすい環境づくりに積極的に取り組んでいます。これらの活動が評価され、2025年度の『健康経営優良法人』として認定されました。

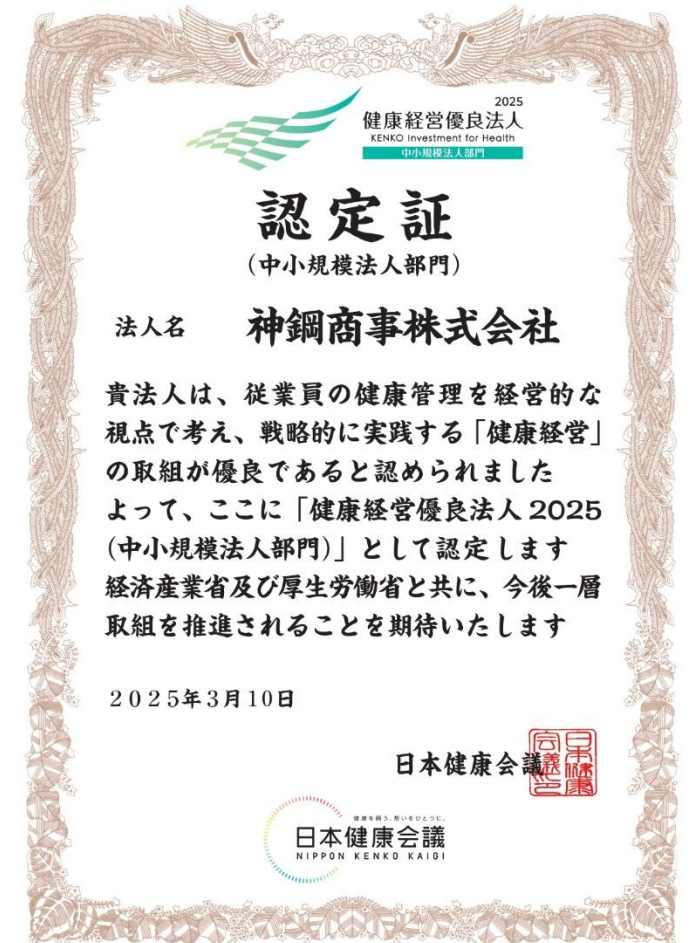


健康経営の取り組みは、従業員一人ひとりが心身ともに健康であることが企業の成長にもつながるという考えのもと、働きやすい環境の整備、健康プログラムの充実、職場のメンタルヘルス対策など、多岐にわたります。当社はこれらの施策を通じて、従業員の満足度（ES）の向上にも力を入れています。



今後も、健康支援施策の充実や働き方改革を推進し、生産性や企業価値の向上による持続可能な経営の実現に努めてまいります。

健康経営優良法人2025（中小企業部門）認定証





目標11 住み続けられるまちづくりを

都市を包括的、安全、レジリエントかつ持続可能にする



神鋼商事SDGs

神奈川県で発生した金属スクラップは、地場の電炉メーカーを中心に循環させ、地産地消を実現させる。

取組内容

取組項目	取組内容	目標	成果
地域清掃	平塚市まちぐるみ大清掃に合わせた近隣清掃の実施	実施	達成

2024年11月24日(日)に平塚市のまちぐるみ大清掃に合わせ、弊社でも社屋周辺の道路と、相模川の河川敷遊歩道の清掃活動を行いました。ポイ捨てされたペットボトルや空き缶、季節柄たくさんの落ちていた枯れ葉やどんぐりを掃除し、大雨時に水没しがちな道路の側溝の泥の撤去も併せて行いました。

みなさまに気持ちよく弊社を利用していただけよう、今後も清掃活動を続けて参ります。





目標12 つくる責任つかう責任

持続可能な消費と生産のパターンを確保する

神鋼商事SDGs

適正かつコンプライアンスに基づいたスクラップの回収、選別、加工による再資源化をおこない、純度の高い良質な製鋼原料を作りあげ安定供給をおこなう事で、循環型社会を促進させる。

取組内容

取組項目	取組内容	目標	成果
金属スクラップの再資源化	回収、選別、加工	リサイクル率100%	達成
新規のお客様の増加	新規のお客様を増やし、 安定的な仕入に繋げる	獲得目標数	107%達成



目標13 気候変動に具体的な対策を

気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る

神鋼商事SDGs

2030年までに営業車の環境適応比率（電気自動車、ハイブリッド車等）を60%にし、CO2排出量の削減を図る。

社内のBCP構築および包括的な地域ネットワークを通じての相互支援システムの構築により、気候関連災害や自然災害に対しての強靱性を図り災害に強い会社にする。

取組内容

取組項目	取組内容	目標	成果
カーボンニュートラルに向けたCO2排出量削減目標の策定	目標設定に向けた現状把握	中期目標として2030年までの目標策定	達成
CO2排出量の可視化	CO2月間排出量の測定、周知	全体周知	達成

CO2排出量削減目標の改定を行いました。



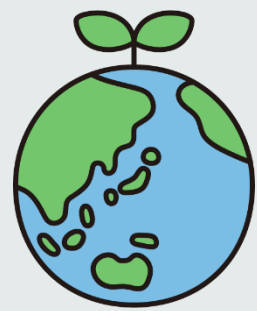
当社は2022年に、2030年までのCO2排出量削減目標を設定しておりましたが、事業の拡大に伴う取扱量の増加などにより目標の改定を行いました。

2022年度設定目標	2030年までにCO2排出量を50%削減する
2025年改定目標	2030年までに、取扱量1tあたりのCO2 排出量を2020年度比30%削減する

具体的には、2020年度の取扱量1tあたりのCO2排出量が**9.03kg-co2**だったものを、2030年度に**6.32kg-co2**に減らすことを目標と致します。

来年度はCO2排出量の削減に向け、電力会社を変更や工場棟の水銀灯のLED化を計画しております。電力は、『家庭から出るごみを焼却する際に発生した熱を高効率発電に利用し、発生したクリーンな電気を地域にもどす「地産地消」の推進』をしている近隣企業と連携し、環境負荷の低減に貢献したいと考えております。

ごみ焼却
発電の仕組み



ごみ焼却施設はごみを燃やす際に出る熱を利用して蒸気を沸かし、その蒸気力でタービンを回して電気を生み出すことができます。つまり、地域から出たごみから電気を生み出し、その電気を地域内で消費するといった「電力の地産地消」が可能となったのです。従来通り電力会社の送電線を使って電気の供給を受けるので、物理的な電力供給の仕組みに変更はなく、電気の品質や信頼性は変わりません。

ごみによる発電は、新たな化石資源を使用せずに電気を生み出すことができるため、CO2排出量の削減に貢献しています。



目標14 海の豊かさを守ろう

海洋と海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する

神鋼商事SDGs

鉄スクラップを加工し、専門漁に使用するおもりを製造～提供し、水質汚染を防止する。

鉄製のおもりは海中で数年後には錆びて消滅。また消滅していく過程で鉄分を海に供給、海藻を生成し、プランクトンが集まり、魚も集まる。鉄を利用することにより、エネルギーをつかわずに自然循環が可能となる。

取組内容

取組項目	取組内容	目標	成果
ビーチクリーン活動	湘南地域の海岸清掃に参加し 海洋環境保全に努める	年間1回の参加	達成
鉄筋おもりの製造販売	鉄筋を加工した製品を販売し 海洋環境の保全に貢献する	販売数量目標値	66.4%

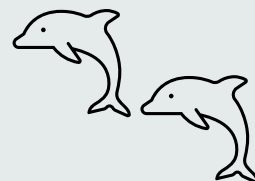
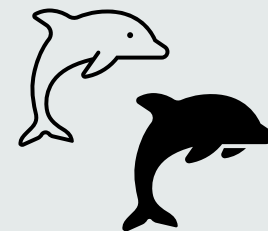
ビーチクリーン活動参加風景

2024年度も湘南地域のビーチクリーン活動に参加いたしました。

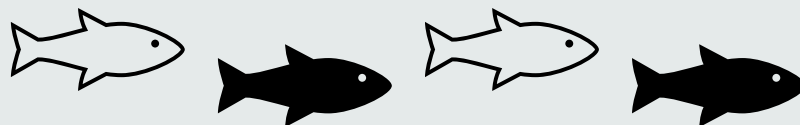


当社は『海岸清掃団体湘南ウキブイ（以下ウキブイ）』が主催する茅ヶ崎ヘッドランド海岸の清掃活動に参加しています。

ウキブイは「未来の子供達に、安全で美しい海、裸足で走り回れる砂浜を残してあげたい」というコンセプトのもと、海岸清掃活動をスタイリッシュかつ、カッコ良く、面白おかしく行うことをスローガンに掲げ、毎月第2日曜日に清掃活動を行っており、今までに233回（2025年4月現在）開催されています。ご興味のある方はウキブイのHP（<https://www.ukibui.com/>）から参加申込が可能ですので、ぜひご覧ください。



当社の鉄筋おもりについて



当社は2018年度より専門漁に使用する鉄筋おもりの製造、提供を行っております。

漁業でよく用いられる鉛製のおもりに比べ、鉄製のおもりは環境に優しいことが特徴です。専門漁で使用され海中に沈んだ鉄製のおもりは、海中で錆びて数年後には消滅します。消滅していく過程で鉄分を海に供給することで、海藻を生成し、プランクトンが集まり、魚も集まるという生命の循環を生み出します。鉄製のおもりを使用することで、漁によって海から生命をいただくだけでなく、新しい生命が栄える環境を作り出すことができるのです。



鉄筋おもり製作風景



主に中深海の釣りで使用されます

もともと鉄はリサイクル率が非常に高く、国内の業界で取り扱われた鉄スクラップの約80%以上が電気炉で甦り、残りは転炉での製鋼用や鋳物用として消費されたり、海外へ輸出されたりしています。

当社は創業より鉄スクラップの適正処理と再資源化に努めて参りましたが、SDGs目標の達成に向けさらに地球環境にコミットしていきたいと考える中で、鉄の新しいリサイクルの形として、鉄筋おもりに着目いたしました。

鉄製のおもりを漁業に導入することは、より持続可能な漁業の実現につながります。鉄製おもりの環境的メリットをさらに広めていくこと、それに賛同していただけるユーザーを増やすことは、金属リサイクルのリーディングカンパニーとしての当社の責任であると考えております。

目標17

パートナーシップで目標を達成しよう

持続可能な開発に向けてグローバル・パートナーシップを活性化する

神鋼商事SDGs

神鋼商事株式会社が関わる団体、組合等でSDGsの取組みに関する各パートナー企業への啓蒙活動を実施し、社会貢献のインパクトを拡大していく。
同様の志、目標を共に持つパートナーと、業種の垣根を越え提携し、共通の持続可能な開発目標を達成する。

取組内容

取組項目	取組内容	目標	成果
ペットボトル、古紙などの再資源化	再資源化を行うSDGs パートナー企業に提供する	回収率100%	達成

2025年度 SDGs委員会 取組項目

運動・清掃イベントの実施

- 従業員の運動機会の提供、ならびに地域貢献として清掃活動を行います。

工場棟のLED化

- CO2排出量の削減に向け、工場棟の水銀灯をLED化し環境負荷の低減を目指します。

ユニフォームの刷新

- 従業員の働きやすさ、ESの向上を目指しユニフォームを刷新します。

SDGs関連制度の継続取得

- かながわSDGsパートナー、健康経営優良法人など関連制度を継続取得していきます。

CO2排出量の削減に向けた監視と報告

- 2030年のCO2排出量削減目標の達成に向け、使用エネルギーの監視と報告を続けます。

SDGs委員会

神鋼商事SDGsとして発信

2024年度の委員会活動を振り返ると、委員会メンバー以外の協力も厚く、従業員のSDGsに対する意識の向上を感じることができた1年になったと思っています。しかし年間計画を実行するのに直前の準備に追われ、時間の余裕を持って取り組めなかったことが今年度の反省点です。

来年度は今年の反省も踏まえて、ゴールと過程の確認を行い、新たなことにも取り組みながら充実した1年にしていきたいです。

今年度は目標8「働きがいも経済成長も」に対する取り組みとして、工場内の整理、動線確保を行いました。結果的に5S、作業効率の向上、ストレスフリーな環境など多くのメリットがあり、活動の成果を実感しています。今後も働きやすく綺麗な状態を維持すると同時に、改善を続けていきたいです。

また、ボウリング大会では子どもも含め家族と一緒に盛り上がることで良かったと思います。またイベント等を企画し、家族で参加したいなと思っています。

2024年度の活動では、盛況したボウリング大会が印象に残っています。ボウリングが初めてというお子さまも多く、ご家族の皆様で運動を楽しんでいただけたと思います。

清掃活動も増えてきて嬉しい限りです。今後は健康増進活動として、ウォーキングを兼ねた清掃活動など企画していけたらと思っています。

2024年度はボウリング大会、地域清掃、海岸清掃と、ご家族に参加いただくイベントも多く行うことができました。社内のコミュニケーションが図られることで、良好な職場環境や働きがいにつながったり、家族ぐるみの関わりが増えることで、仕事とプライベートを大切にできる、持続可能な働き方の実現につながっていくと良いなと思っています。2025年度もSDGsの目標達成に向け、委員会として活動を続けて参ります。